

大学名 香川大学

第72号 特集テーマ「データ人材の育成」

表題 「危機管理学×数理・データサイエンス・AI教育特別プログラム」によるデータ人材の育成

香川大学では、文部科学省が実施する「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度」のリテラシーレベル（※1）及び応用基礎レベル（※2）の認定を受けています。香川大学では、更に発展させた大学独自の「危機管理学×数理・DS・AI」科目（②、③）を加えて、「危機管理学×数理・データサイエンス・AI教育特別プログラム」を構築し、令和6年度から履修をスタートさせました。本プログラムを教育モデルとして展開・普及するとともに、ワンランク上のデータ人材を育成します。

数理・データサイエンス・AIリテラシープログラム <全学部1年生が必修のプログラム> ※1（リテラシーレベル）の修了
「情報リテラシーA」（1単位）、「情報リテラシーB」（1単位）



香川大学ネクストプログラム（※3） <学部の枠を超えた主体的に学習する自由参加型の特別教育プログラム>
「危機管理学×数理・データサイエンス・AI教育特別プログラム」

★文科省認定プログラム。応用基礎レベル（※2）の上位プログラム ★令和6年度履修スタート/修了要件は、以下の①②③



① 数理・データサイエンス・AI応用基礎プログラム（「DRIイノベーター養成プログラム（Iコース）」） ※2（応用基礎レベル）の修了
★Iコース対象科目（131科目154単位以上）のうち、12単位以上修得

「初めて学ぶDRI」（1単位）「DRIイノベーター養成プログラム課題研究」（1単位）のほか、統計学、情報科学、ビッグデータ、AI、ICT、IoT等と関連のある内容を含む授業を履修



② 危機管理学に関する知ブラe科目（e-Learning科目）（1単位）×3科目の修得

「知ブラe科目 データサイエンスを活用した防災・危機管理」（1単位）
「知ブラe科目 レジリエントな社会の構築とコンピューターシミュレーション」（1単位）
「知ブラe科目 災害とデータサイエンス」（1単位）

★知ブラe科目はe-Learningにより、時間や場所を問わずPCから履修可能
【知ブラ：知のプラットフォーム】

③ AIモデル構築を行う専用科目（課題演習）（2単位）の修得

「危機管理学×数理・データサイエンス・AI教育特別プログラム課題演習」（2単位）
課題演習ではPython（パイソン）を用い、ダミーデータではなく、防災や減災に関する実データを用いたAIモデル構築を行うことにより、即戦力となる実践的で効率的なデータ分析能力を身につけることが可能となります



「DRI教育」とは、新たな価値創造のための学士課程教育です。DRIとは、次の3つの言葉の頭文字です。
・ Design thinking：イノベーションを創出する「デザイン思考」
・ Risk management：レジリエンスやセキュリティ等に資する「リスクマネジメント」
・ Informatics：デジタル社会を生きるための「インフォマティクス」

- ワンランク上のデータサイエンティストを育成 -

データの集計・結合・修正・削除・グラフ作成を自動化することによって大量のデータを高速に処理し、ビッグデータの実践的で効率的な解析能力を有する即戦力となるワンランク上のデータサイエンティストの育成を目指します